

熊本シティアエフエム「もっと知りたい熊本～都市政策談話室～」

都市政策研究所 研究員 渡辺 亨

テーマ：長寿企業・ファミリー企業について

①長寿企業って、どんな企業のこと？

一般的に企業の寿命が30～40年と言われますが、日本には、少なくとも2万5千社以上の長寿企業が存在します。長寿とは100年以上の長期間にわたって続いているという意味で、世界中で一番多くの長寿企業が存在する国が、他ならぬ日本なのです。

②それでは、日本一の長寿企業ってどんな企業？

日本で最も長い歴史を持つ企業は大阪の社寺建築会社で、日本最古であると同時に世界最古の企業としても知られています。今から約1400年前の飛鳥時代に、聖徳太子が大陸から呼んだといわれている宮大工の子孫が、代々の経営を担ってきたファミリー企業でした。

③熊本の長寿企業と言えば…

熊本県内の長寿企業は、2010年の時点で約300社あります。その中でも一番長い歴史を有する企業は、「朝鮮飴」の元祖として有名な「園田屋」さんで、創業は江戸幕府が開かれるよりも前とされています。皆さんもご存知かもしれませんが、朝鮮飴は元々、肥後飴などと呼ばれていましたが、加藤清正が文禄・慶長の役に携行したことに由来しており、当時から日本一の保存食として高い評価を受けていました。

④長寿企業のキーワードは「信頼関係」！

平均寿命より何倍も長い期間にわたって存続する企業には、「信頼関係」という共通したキーワードが発見されます。長い歴史の中で戦争や天災などの予期せぬ事態に遭遇したとき、一商人の力だけでは太刀打ちできなくとも、信頼関係を築いた多くの人々と互いに助け合うことによって、大きな危機を乗り越えてきた企業が「長寿企業」になることができたと考えられることもできます。

⑤長寿企業・ファミリー企業には魅力的なエピソードあり！

長寿のために欠かせない信頼関係を築く中で、それぞれの企業に独自のエピソードが生まれます。地域密着の経営を続けてきた様々な企業のエピソードを集めることで、地域の「歴史」や「特徴」を知ることができます。そのような魅力的なエピソードを、できるだけ多く集めることが今後の研究テーマです。